



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月1日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 金井 哲男 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	37,331	△26.2	3,635	90.8	5,667	139.5	6,229	351.0
2022年3月期第1四半期	50,603	12.3	1,905	348.6	2,366	87.7	1,381	126.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 6,361百万円 (77.7%) 2022年3月期第1四半期 3,579百万円 (18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	154.26	—
2022年3月期第1四半期	34.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	240,216	133,233	53.7
2022年3月期	290,696	130,063	43.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 128,890百万円 2022年3月期 126,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	37.50	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	77,000	△21.5	6,000	130.8	8,500	105.4	9,000	206.5	229.65
通期	160,000	△22.4	9,000	23.9	11,000	△7.8	25,000	—	652.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想につきましては、世界的に経済情勢の不透明感が強く、下半期業績想定の変動幅が大きいため据え置いています。

業績想定前提条件の確度を判断出来た時点で、改めて公表する予定としています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 — 、 除外 2社 （社名）カーレックスガラスアメリカ, LLC、
カーレックスガラスルクセンブルク S. A.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	42,975,995株	2022年3月期	42,975,995株
2023年3月期1Q	3,066,729株	2022年3月期	2,508,151株
2023年3月期1Q	40,381,727株	2022年3月期1Q	40,468,560株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進み、景気の持ち直しが期待されるものの、急激な円安の進行や原燃材料価格の高騰、中国主要都市のロックダウンによるサプライチェーンの停滞など、依然として厳しい状況が継続しております。

世界経済は、先進国を中心に経済回復の動きが見られておりましたが、ロシアによるウクライナ侵攻及びロシアに対する各国政府の経済制裁の影響による原燃材料価格の高騰、米国の急激なインフレ進行と金融引き締めによる景気への下押しリスクや、中国のゼロコロナ政策の継続による経済成長の鈍化懸念など、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、5月7日に株式譲渡を完了しました欧米自動車ガラス事業会社2社が、当第1四半期連結会計期間の期首より連結対象から除外となった影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は37,331百万円と、前年同期比26.2%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比3,301百万円増加の5,667百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4,847百万円増加の6,229百万円となりました。

尚、セグメント別の概況につきまして、「化成品事業」を主に化学品、ファインケミカル、肥料に区分して説明しておりましたが、従前の区分での売上規模が変動してきたため、当第1四半期連結会計期間より、化学品にファインケミカルに区分していた精密化学品を合わせた素材化学品と、精密化学品以外のファインケミカルを医療化学品、電子材料、エネルギー材料に区分し、肥料を加えた区分に変更しております。この変更は、概況をより適切にご説明することを目的としており、報告セグメントの事業としての影響はございません。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、建築需要は比較的堅調に推移しましたが、前年に実施しました構造改善の取り組みとして不採算取引等の見直し、販売・生産拠点の適正規模への縮小、集約を進めた事により、売上高は対前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は前年同期に半導体等の部品供給不足及び新型コロナウイルス感染症の流行による各自動車メーカーの生産調整の影響を、当期は上海のロックダウンなどによる部品供給の問題で各自動車メーカーの生産調整の影響を受けており、売上高は前年同期並みとなりました。海外につきましては、株式譲渡により欧米事業会社2社が期首より連結対象から除外となりましたことから、前年同期を大幅に下回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野において半導体等部品供給不足の長期化による各自動車メーカーの減産や建材・住設向け需要が低調に推移した影響により、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は11,765百万円（前年同期比57.9%減）となり、損益につきましては365百万円の営業利益（前年同期比411百万円の改善）となりました。

(化成品事業)

素材化学品につきましては、ハイドロフルオロオレフィン製品が、次世代溶剤の販売が好調に推移し、原燃材料価格の高騰に対応し各製品で値上を実施したことに加え、農薬関連製品の販売も好調に推移したことから、売上高は前期を上回りました。

医療化学品につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、医薬関連製品の出荷が低調に推移したものの、円安の進行により輸出価格が上昇し、売上高は前年同期並みとなりました。

電子材料につきましては、堅調な半導体市場により、半導体向け特殊ガス製品の売上高は前年並に推移しましたが、前年の一部ガス製品特需の反動と、特殊ガス以外の製品のユーザーの在庫調整により、売上高は前年同期を下回りました。

エネルギー材料につきましては、EV市場の成長が続いており、リチウムイオン電池用電解液製品の販売が好調に推移し、原材料費が高騰していたため販売価格の改定も実施したことにより、売上高は前期を上回りました。

肥料につきましては、塩安の調達で中国の輸出規制の影響を受けたため、塩安製品の販売減がありましたが、6月価格値上げの前倒し需要等があり、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は25,566百万円（前年同期比12.9%増）となり、損益につきましては3,270百万円の営業利益（前年同期比1,318百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

株式譲渡により欧米自動車ガラス事業会社2社が当第1四半期連結会計期間の期首より連結対象から除外となった影響などにより、当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、受取手形、売掛金及び契約資産が9,128百万円、棚卸資産が10,131百万円、有形固定資産が25,346百万円それぞれ減少したことなどにより、50,479百万円減少し240,216百万円となりました。

負債は仕入債務が2,700百万円、関係会社株式譲渡損失引当金が48,404百万円それぞれ減少したことなどにより、53,649百万円減少し106,983百万円となりました。

純資産は株価の下落などによりその他有価証券評価差額金が1,890百万円減少する一方、利益剰余金が4,711百万円、為替換算調整勘定が1,579百万円それぞれ増加したことなどにより、3,170百万円増加し133,233百万円となりました。また、自己資本比率は10.3%増加し53.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表しました前回予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

この連結業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,216	27,192
受取手形、売掛金及び契約資産	49,000	39,871
商品及び製品	32,518	27,628
仕掛品	3,951	2,305
原材料及び貯蔵品	21,277	17,682
その他	6,124	5,011
貸倒引当金	△185	△153
流動資産合計	140,903	119,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,738	22,263
機械装置及び運搬具（純額）	39,894	23,886
土地	23,956	22,553
建設仮勘定	4,521	3,413
その他（純額）	3,941	3,588
有形固定資産合計	101,052	75,705
無形固定資産		
その他	1,317	1,049
無形固定資産合計	1,317	1,049
投資その他の資産		
投資有価証券	38,617	35,498
その他	8,925	8,541
貸倒引当金	△120	△119
投資その他の資産合計	47,423	43,921
固定資産合計	149,792	120,677
資産合計	290,696	240,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,105	19,405
短期借入金	7,649	8,138
未払法人税等	2,007	532
契約負債	2,422	1,037
賞与引当金	1,265	390
事業構造改善引当金	2,617	1,829
関係会社株式譲渡損失引当金	48,404	—
その他	26,921	29,402
流動負債合計	113,395	60,735
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	17,198	15,652
特別修繕引当金	3,826	3,903
環境対策引当金	38	38
退職給付に係る負債	5,388	5,394
その他	785	1,258
固定負債合計	47,237	46,247
負債合計	160,632	106,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	88,465	93,177
自己株式	△6,402	△7,986
株主資本合計	108,340	111,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,725	11,834
繰延ヘッジ損益	286	317
為替換算調整勘定	2,863	4,443
退職給付に係る調整累計額	868	826
その他の包括利益累計額合計	17,744	17,421
非支配株主持分	3,977	4,343
純資産合計	130,063	133,233
負債純資産合計	290,696	240,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	50,603	37,331
売上原価	40,296	27,365
売上総利益	10,307	9,966
販売費及び一般管理費	8,401	6,330
営業利益	1,905	3,635
営業外収益		
受取利息	3	138
受取配当金	457	403
持分法による投資利益	168	362
為替差益	—	875
その他	447	653
営業外収益合計	1,076	2,432
営業外費用		
支払利息	88	63
為替差損	140	—
固定資産廃棄損	87	109
その他	299	227
営業外費用合計	615	400
経常利益	2,366	5,667
特別利益		
固定資産売却益	—	566
投資有価証券売却益	1	1,072
事業譲渡益	76	—
特別利益合計	77	1,639
特別損失		
固定資産売却損	—	10
事業構造改善費用	117	268
特別損失合計	117	279
税金等調整前四半期純利益	2,326	7,027
法人税等	841	507
四半期純利益	1,485	6,520
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	290
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,381	6,229

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,485	6,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,570	△1,889
繰延ヘッジ損益	△23	30
為替換算調整勘定	3,396	1,336
退職給付に係る調整額	△12	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	303	404
その他の包括利益合計	2,094	△159
四半期包括利益	3,579	6,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,353	5,906
非支配株主に係る四半期包括利益	225	454

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,958	22,645	50,603	—	50,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	280	283	△283	—
計	27,961	22,925	50,887	△283	50,603
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△46	1,951	1,905	—	1,905

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,765	25,566	37,331	—	37,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	222	222	△222	—
計	11,765	25,788	37,554	△222	37,331
セグメント利益(営業利益)	365	3,270	3,635	—	3,635

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。